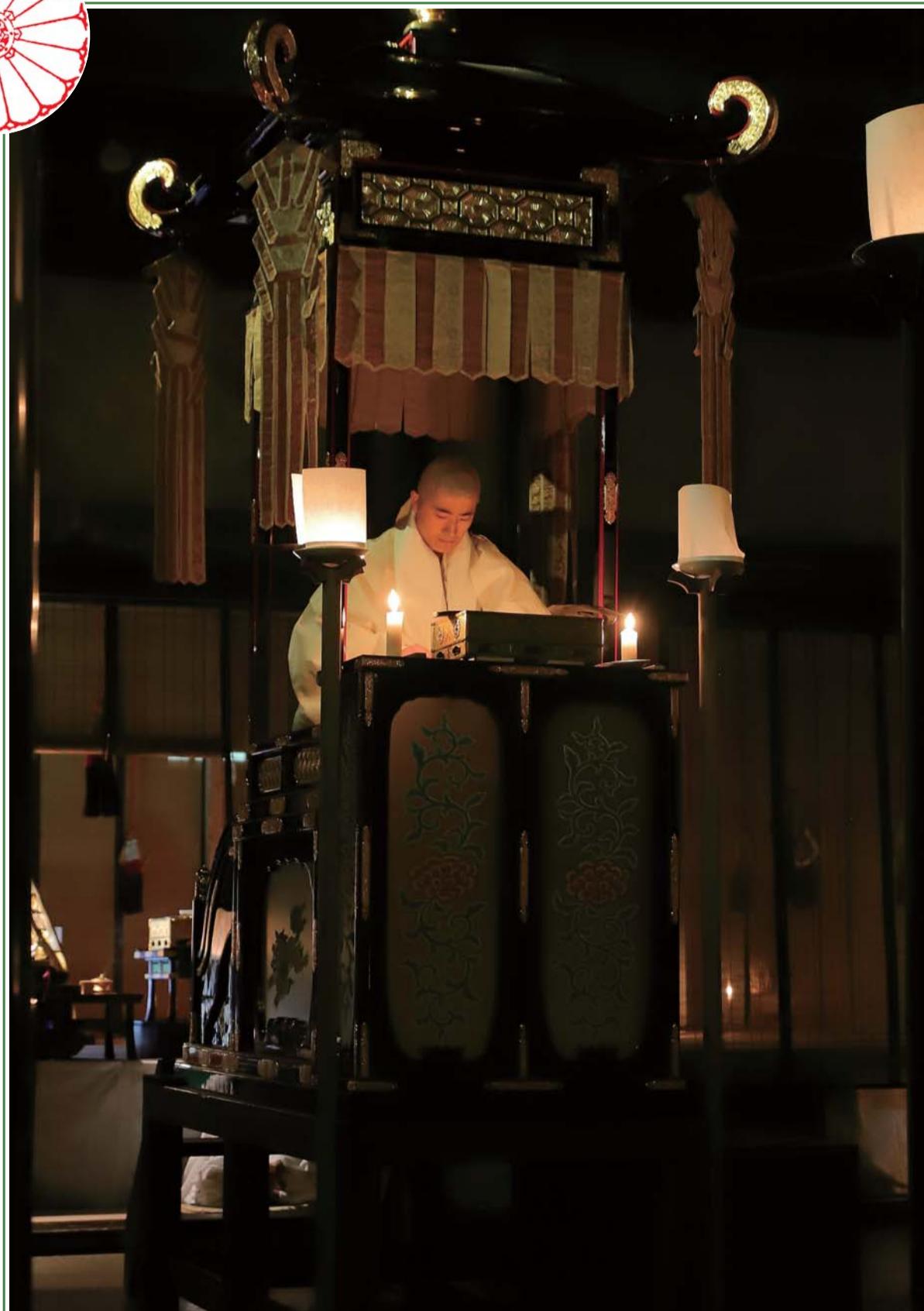


この度の千葉県を中心とした台風15号により被災された方々に、心から見舞いを申し上げます。

天台宗総本山 比叡山延暦寺



暗闇と緊張のなか、堅義問答に挑む堅者

比叡山そして延暦寺のそこかしこには独特の空気や雰囲気があると言われます。境内、参道、行者道、森林、そして総本堂根本中堂などの佇まい。参詣なさる人々が何かしら感じていただけるのだとすれば、それは脈々と受け継がれてきた「伝燈」にある「心」でしょうか。

「我が志を述べよ」と仰せになつた宗祖の御心を「しっかりと伝えていく事」、そして「最澄さまとの再会の場所になること」。我々が運ぶボールにはそのような想いが込められています。

今月の始め、比叡山では「法華大会広学堅義」（僧侶の試験）が厳修されました。毎日大勢の堅者と呼ばれる受験者が、扉の閉ざされた暗闇の大講堂内へ入堂し、出題者の探題大僧正をはじめ質問者の僧や諸先輩が見守る中、堅義問答往復に挑みました。ある者は極度の緊張から声がうわずり、また重圧に巻物を持つ手の震えが止まりません。彼らもまた「法燈」というボールを見失わず、がつちりと受け止めバスしていくなければならぬ大切な役目があります。同時に、この儀式を統括する法華大会の局長や会行事を始めとする事務局会役者全てが堅者と同じく、またそれ以上に緊張感を持って臨んだようです。緊張感というよりは、自身に湧き出る責任感や使命感というものでしょか。傍らに関わった者のみが感じるピーンと張り詰めた空気がそこにあるのです。

過日開幕したラグビーワールドカップでは、選手一人ひとりの気迫あるプレーに感動をもつて観戦された方も多いことでしょう。前評判通りに興味深かつたのは、初日に行われた日本対ロシア戦。万全の準備をもつて臨んだであろう日本代表メンバー十五人の一流プレイヤーたちに、素人目にもわかるほど緊張の様子が伝わってきました。いかつく屈強に鍛えられた彼らの両肩にのしかかるブレッシャーがこれほどのものであるのかと大変驚いたものです。その後試合の流れと共に撥ね退けられて見事なチームプレーで勝ちました。一方優勝候補と目されたアイルランド戦、一次リーグ突破に負けられないサモア戦など、その重圧に負けない堂々としたプレーで素晴らしい勝利を収めたことはご承知の通りです。



発行所  
比叡山時報社  
□jihoh@deluxe.ocn.ne.jp  
〒人津市坂本町4220  
郵便番号 520-0116  
電話 077-578-0001  
振替 00970-2-9732  
宗教法人延暦寺事務所  
定価 1部110円 年1200円

## 延暦寺広報

比叡山講福聚教会  
会報  
年度会費(3000円)中に会報(比叡山時報)購読料を含む。

永劫続  
令和元年比叡山から  
発信する言葉



ご購読は  
こちらから

# 法華大会—宗祖の御心をしっかりと伝える

